



“わたしたちの社協の一押し事業”



「地域ぐるみ福祉事業」の推進

／芝山町社会福祉協議会

事業名：地域ぐるみ福祉事業
○具体的な内容・中身 ・ひとり暮らし高齢者、高齢者だけの世帯、日中高齢者だけになってしまう世帯等、見守りや支援の必要な世帯の状況を常に把握し、問題（課題）発見に努める。 ・情報提供や相談対応、関係機関・団体への取り次ぎ等を行う。 ・地域内での孤立を可能な限り防ぎ、適宜必要な支援を提供する。
○その事業を始めたきっかけ ・県補助事業「地域ぐるみ福祉ネットワーク事業」への取り組みとして開始。 ・取り組み後に実施した、一人暮らし高齢者と高齢者のみで暮らす世帯を対象としたニーズ調査で、「いざという時に誰にも気付いてもらえないかもしれない不安」が多く上げられたことから、日常の中で異常時に気づくことができる見守りの必要性を痛感し、県事業終了後も取り組みを続けている。
○事業の特長、特に強調したい点 ・社会資源の乏しい小さな町ではあるが、その分町全体に目が届きやすいという利点もあり、要援護高齢者等の把握と日常的な見守りを町内7つの地区社協事業として取り組んでもらっている。 ・その他にも、ホームヘルパー派遣事業、給食サービス事業、シルバー人材センター事業、老人クラブ連合会運営事業等々、様々な事業を通じて逐次情報を収集している。
○事業の財源と事業費の内訳、業務量（事務量、負担感・協力者の人数等） ・地区社協助成金の一部（2万円/1地区社協）を除き、専任職員の人件費を含め全額町補助金。事業費は計257.4万円。 ・担当職員（専任職員）が中心となり、職員全員がそれぞれの担当する事業の中で連携を取りながら情報の収集・提供及びサービス等の提供を行っているため、1人の職員に係る業務量としては比較的少ないと思われる。
○事業の効果、住民・関係者からの評価 ・ひとり暮らし高齢者等、社会的弱者といわれる方々を地域全体で見守るという意識が浸透してきているように感じられる。 ・急に具合が悪くなった時などの緊急時の連携がスムーズに取れたケースも確認されている。住民や関係者の評価も良好と思われる。
○今後、同じような活動を始めるに当たってのヒント・アドバイス ・地域の実情に合わせて様々な立場から協力者を募り、二重三重の見守りネットワーク体制にして、一人ひとり無理のない範囲で協力してもらえることで、活動が細くとも長く継続されると思う。
この事業に関する問合せ先：芝山町社会福祉協議会（担当：瓜生）電話 0479-78-0850

（平成28年3月31日作成）